

# 令和4年度 事業計画書並びに資金収支予算書

社会福祉法人金山町社会福祉協議会



# 令和4年度 事業計画書

社会福祉法人金山町社会福祉協議会

## 令和4年度 社会福祉法人金山町社会福祉協議会 事業計画

### I 基本方針

少子高齢化や低成長型の社会へと、社会経済環境の大きな変化に伴い、高齢者や障がい者など、生活上の支援を要する人々の生活は、一層厳しいものとなっており、さらに、家庭や地域の相互扶助機能の低下、つながりの希薄化などから、より問題が多様化しています。

このような中で、生活の安全安心を実現するためには、公的、または、その他のサードを積極的に活用できる環境を整備していくことが重要であるとともに、地域における共に支えあい助けあうという、福祉の心の醸成や、福祉課題について住民自らが主体となって活動、行動していくことも必要とされます。

社会福祉協議会は、そうした活動の効果を推進を図ることによる、地域の活性化、福祉化をめざし、住民が望んでいる将来の地域の姿の具体化と、その実現に必要な諸活動を、組織的に展開していくための計画化を念頭に組織づくり、関係機関・団体とのネットワークなどに積極的に取り組んでいきます。

### II 重点事業

#### ① 法人運営管理事業

#### ①ー1 法人運営管理事業

(事業費 20,127 千円)

#### ◆ 役員会等の運営管理

理事会、評議員会を開催し、法人の運営管理及び事業実施計画、事業推進課題等、重要事項の審議、決定を行うとともに、関係諸機関との連絡調整を図り地域福祉推進の中核的役割を担う組織運営を行う。

適正な法人運営、事業の効果を推進を図るため、福祉推進研究研修等への役員の派遣を行う。

#### ◆ 事務局の運営管理

社会福祉協議会を運営するため事務局を置き、職員を配置する。  
事務局は諸規程の定めにもとづき、事務事業の適正な処理、執行にあたり、特に、事業経営の透明性の確保や情報公開の視点から、常に財政状態及び経営成績並びに支払資金の収支状況を的確に把握することのできる適切な経理事務を行う。

社会福祉協議会の運営上、事務局として必要な各種研究研修への参加を積極的に行うとともに、関係諸機関や地域住民との連携を密にし、本町の福祉向上、地域福祉推進に取り組むものとする。

## ② 生活支援援助事業

### ②-1 ホームヘルパー派遣事業

(事業費 8,003 千円)

日常生活上の支援、指導から、一人暮らし高齢者等の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図るためのホームヘルパー(3名体制)派遣事業。

対象者は、要介護認定非該当の方。

日常生活、家事、対人関係の構築等についての支援、指導、並びに関係機関等との連絡調整を行

う。

また、実施事業の周知活動を行い、利用者開拓をすすめ、対象世帯の福祉向上を図るとともに、介護予防の視点から、地域包括支援センター等関係機関と連携し、健康づくり及び生活習慣の改善等の活動に対し、積極的に協力、支援を行う。

### ②-2 高齢者在宅福祉事業

(事業費 698 千円)

町が実施する高齢者在宅福祉事業の一部を受託。

#### ◆ ねたきり老人等寝具洗濯乾燥消毒サービス事業

70歳以上の一人暮らし、または二人暮らし高齢者世帯、及び65歳以上の寝たきり及び重度障がい者等に対する、掛、敷布団、毛布等の洗濯乾燥消毒サービス。

(利用者負担:利用料の1割)

#### ◆ 緊急通報システム設置事業(やすらぎ電話)

おおむね65歳以上の低所得の一人暮らし等で、安否確認を行う必要がある方に設置。

(利用者負担:通話料及び消耗品)

### ②-3 福祉サービス利用援助事業

(事業費 673 千円)

認知症高齢者や障がい者など、判断能力に不安のある方に対する自立支援事業。

判断能力が十分ではないことから、必要な福祉サービスの利用が困難であったり、日常生活上不  
安や問題をもつ方などに対し、福祉サービスを利用する際の支援、利用料の支払、日常的な金銭管理  
の支援等により、地域で自立した生活ができるよう必要な援助を行う。

(※利用契約締結のうえサービス提供)

#### ◆ 福祉サービス利用の支援

#### ◆ 日常的な金銭の出し入れの支援

#### ◆ 大切な書類等の預かり

②-4 相談及びその他の援助事業 (事業費 178 千円)

◆ 心配ごと相談

日常生活上の様々な心配ごとの相談に応じ、地域の社会資源を効果的に活用し適切な助言指導を行い、福祉推進を図ることを目的とする相談事業。

定期的に心配ごと相談所を開設し、相談内容に応じて必要な関係機関との連携を図りながら、問題の円満な解決を図る。

相談内容の複雑多様化に対応するため、相談事業関係者を対象とする各種研修会等に参加する。

◆ その他の援助

(災害見舞金支給)

火災により住居が被災した場合の見舞金支給

(行路貧困者交通費等援助)

行路貧困者で他から支援を受けることができず、公共交通機関等を利用する当座の交通費等がないため、目的地への移動が困難な者に対する、当面の自立援助(交通費等の支給)。

②-5 生活福祉資金事業

(事業費 174 千円 : 貸付金は県社協管理)

低所得者、障がい者又は高齢者にたいし、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長や社会参加の促進を図る。

対象者の生活の安定を目的とする事業。

援助を要する世帯に対し、世帯担当地区民生委員と連携し、世帯の実態を把握(調査の実施)、指導計画を立て、資金貸付等所要の援助指導を行う。

資金借受世帯の状況が著しく悪化(償還滞納等)している場合は、担当民生委員並びに県社協と連携、個別指導をし、悪質な場合を除き、支払猶予手続き等、世帯の援助を行う。

事業の円滑な運営を図るため、生活福祉資金貸付事業運営研究研修等に参加する。

(民生委員の派遣等)

②-6 たすけあい資金貸付事業

(事業費 509 千円)

生活困窮世帯等に対する援助事業。(小口貸付事業)

被保護世帯並びにこれに準ずる世帯に対し資金を貸付けし、必要な援助指導を行う。

(生活困窮状況の解消に向けたたすけあい資金)

### ③ 地域福祉推進事業

#### ③-1 福祉バス運行管理事業

(事業費 3,888 千円)

老人、心身障がい者及びその他の福祉団体活動や、住民の社会福祉活動の促進、行政機関の事業推進等の福祉バス運行管理事業。

運行計画(利用申込の受理、管理)にもとづく、円滑な業務の推進と、事故防止(車輛の整備点検)につとめる。

#### ③-2 いきいきネット推進事業

(事業費 1,763 千円)

「安心して暮らせるまちづくり」のため、地域の課題にたいして、住民の連帯や組織的な活動が積極的に展開できる環境の整備を行う。

#### ◆ ボランティア活動の推進

まちづくりの担い手となる地域の活動者(ボランティア活動者や当事者団体等)の把握、育成、組織化と、その活動の継続的發展のための支援や、あらたな活動の創造に取り組む。

#### (ボランティア学習研修)

福祉活動の充実を目的とする学習研修会の開催、並びに研修参加支援。

地域におけるニーズの把握及び解決法や小地域福祉活動(見守り活動、福祉隣組、福祉登録、福祉ネットワーク活動など)の実践法等の研修の実施、並びに外部研修参加の支援。

#### (ボランティア登録団体等支援)

ボランティアの登録による、活動団体等の把握をし、活動者と活動を必要とする者(活動先)との連絡調整や、活動に必要な情報提供を行う。

また、登録団体等の支援として、活動中の事故等に備えたボランティア活動保険加入費を負担する。

#### (「ふれあい・いきいきサロン」活動支援)

(⇒地区助成)  
参加者、ボランティア相互の交流の場となる「ふれあい・いきいきサロン」の活動を通じて、「人と人のつながりの輪」を広め、地域課題の共有や連帯の意識高揚を図る。

(住民主体活動の継続的發展支援)

#### (「地域除排雪ボランティア」活動支援)

(⇒地区助成)  
地域実情にあった除排雪ボランティアの仕組を検討し、要支援世帯等への支援を実施することにより、地域内における「ささえあい活動」の定着を図る。

#### (「除排雪ボランティア活動推進(除雪機貸出)事業」)

地域におけるボランティアによる除排雪活動に対する除雪機(令和2年度整備)の貸出事業。  
除排雪に課題のある高齢者等要援護者に対する支援活動の取組を推進することにより、雪害に負けない安全、安心な地域づくりに向けた環境の整備を図るもの。

共同募金配分金(前年共同募金による共同募金会からの配分金)をうけて行う地域福祉活動事業。

(事業費 496 千円)

#### ④-1 一般募金配分金事業

#### ④ 共同募金配分金事業

対象者の長年の労苦に対し、感謝と敬意を表し、長寿と健康を祝う「福寿会」開催事業。  
式典(式典招待者⇒米寿、喜寿の方々)において賀詞、祝品の贈呈、及び祝宴を行う。  
関係機関と連携のもとに有意義な福寿会運営をめざす。

(事業費 782 千円)

#### ③-3 福寿会開催事業

(健康長寿のつどい)  
一人暮らし高齢者と民生委員を中心とした福祉関係者、ボランティア等の交流の場をもち、対象者の日常生活上の課題の把握と、リフレッシュ効果による生活意欲増進を図るもの。  
(障がい者サロン：いきいき教室)  
障がい者のリハビリテーション及び生きがいづくりを目的とするつどいの場として、造作活動、軽スポーツ、屋外活動、リハビリや体調維持のための講話等を通年定期的で開催。  
障がい者にやさしいまちづくりに資するため、当事者団体等関係機関(障がい者相談員、身体障害者福祉協会等)と連携した運営とする。  
(金山ミニサロン：健康、趣味の集い)  
町内居住の高齢者を対象とし、健康器具による運動や健康体操、参加者の趣味、特技などを活かした物づくりなどにより、生きがいと仲間づくりを進めながら、身体、精神の健康維持に向けた取組を行う。  
単位老人クラブと連携した運営とする。

#### ◆ 高齢者並びに障がい者の交流 (⇒当事者の組織化、ニーズ把握、交流の場づくり)

福祉団体の育成と活動の充実を目的とし、団体活動費の助成を行う。

#### ◆ 福祉団体活動の支援 (⇒金山町老人クラブ連合会、金山町遺族会)

(生活支援体制整備事業)  
日常生活上の支援(移動、買物、間口除雪等)を要する方々に対し、ボランティア等(有償サービスを含む)による、サービス提供を行うなど、生活支援の体制づくりについて、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、NPO、住民組織等と連携し取り組む。

支援対象：支え合いボランティア“はちまきくらぶ”による『配食サービス』

(在宅福祉援助活動等継続支援事業)  
(⇒見守り型・配食サービス事業「支援」)  
ボランティアによる在宅福祉援助活動等の取組が継続的に発展することを目的に、必要な支援を行



◆ 老人福祉在宅福祉援助活動費配分(食事サービス)

◆ 障がい者福祉団体援助活動費配分(組織の育成) ⇒ 金山町身体障害者福祉協会援助活動費

④-2 歳末たすけあい配分金事業

(事業費 965 千円)

共同募金配分金(歳末たすけあい募金による共同募金会からの配分金)をうけて行う歳末たすけあい募金配分事業。

募金配分対象となる世帯(生活保護世帯を除く在宅の生活困窮世帯)を調査し、配分委員会が審議決定した世帯に対し、募金を配分し激励を行う。

対象世帯の調査並びに配分については民生委員の協力をえて実施する。

⑤ 指定管理事業

⑤-1 農村環境改善センター指定管理

(事業費 14,063 千円)

⑤-2 老人福祉センター指定管理

(事業費 1,919 千円)

農村環境改善センター、老人福祉センターの設置目的の達成及び、利用者の利便性を高めながら安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

⑥ その他の事業

⑥-1 福祉団体等の事務局運営支援

山形県共同募金会金山町共同募金委員会  
金山町老人クラブ連合会  
金山町身体障害者福祉協会  
金山町遺族会

⑥-2 その他の協力事項

金山町民生児童委員協議会事業推進への協力  
金山町福祉事務取扱者事業推進への協力

